

# 入 選

## 孫達へ

福岡 亮様

## 入 選



地震で家が大幅半壊の判定を受け、平屋の小さな家を建てました。二人暮らしなので大きな家はいりませんが、住んでいた奥さんの実家が大きかったので土地が余ってしまいました。裏庭に菜園を作り大根や玉ねぎを育てて孫の好きなトウモロコシやスイカも植えています。

さて表の玄関周りですが孫達が遊びに来るようにと、休日のたびにレンガを並べ芝を張り花壇やバラのアーチ遊歩道を、遊び心を入れながら作っていました。すっかりガーデニングにハマってしまいました。ウッドデッキやプランコを組み立て砂場を作り、現場で出た廃材などを利用し駐車場を石張りにもしました。一枚40キロあり指を何回もはさまれながら100枚ほど並べましたが腰が痛くて大変でした。コツコツ、コツコツ、一年かけてすべて二人で作りました。

あの熊本地震で夜は近くの神社での生活から五年が経ち、我が家は今年も花盛りです。ご近所や散歩中の人にバラを切ってもらっているのが喜ばれているようです。ゴールデンウィークには50人ほどの人が見学に来ました。

孫達が遊びに来るようにと始めたガーデニングですが今は自分自身のめり込む始末です。散歩中や現場で、きれいなバラが咲いているのを見ては、枝の切れ端を分けてもらいインターネットで調べて、見よう見まねで接ぎ木や挿し木を繰り返してバラも随分増えました。花壇の咲いた花から種を取り乾燥させて、毎年まいています。失敗が多いですが・・・。誰も文句を言いません。人は知りませんので。

今年には腐らない木、人工木で乗り物のプランターを作ってみました。孫達の評判も良く喜んでくれました。お陰でよく遊びに来るのですが、ただ彼らの遊びは過激で、必ずお土産を置いて帰ります。花壇の花が踏まれて潰れていたり、バラの枝あちこちが折れていたり、帰った後は大変ですが・・・。またそれも楽しいこと？ 六十六歳まだ現役で頑張っています。我が家の庭先から、彼らの笑い声が聞こえてこなくなるのも、そう遠くないでしょう。旅立って成長しても、私が作ったこの庭で笑顔で花壇や花の中を走り回ったことを思い出していただければ幸いです。またこれからは孫達の成長を花達と私達夫婦が見守っていただけだと思います。

### 講評

2016年の熊本地震で家屋を失われたとのこと、そこから日常生活を取り戻すには大変なご苦労があったことと思います。しかし、現在は手作りで一から作り上げられた庭に、色鮮やかなバラが咲き誇り圧巻です。バラの花の香りにあふれ、菜園からの収穫もあり、DIYのプランターもあり、五感をテーマとするガーデンセラピーの要素がいっぱいですね。元氣いっぱいのお孫さん達はまだ植物を愛でる年齢ではないかもしれませんが、五感で感じた記憶は強く脳に刻まれます。庭の色彩、香り、取れたてのトウモロコシの甘さ、祖父母と過ごした楽しい時間を必ず覚えていて、思い出す時がくるはずですよ。幼い彼らの人生にはまだまだたくさん楽しいことや難しいことも起こるでしょう。しかし辛いときも、「おじいちゃんとおばあちゃんの庭」の記憶が、彼らを必ず支えてくれるでしょう。この庭がどうやって始まったか、ぜひお孫さん達に聞かせてあげてください。



GARDEN STORY  
ガーデンストーリー  
編集部